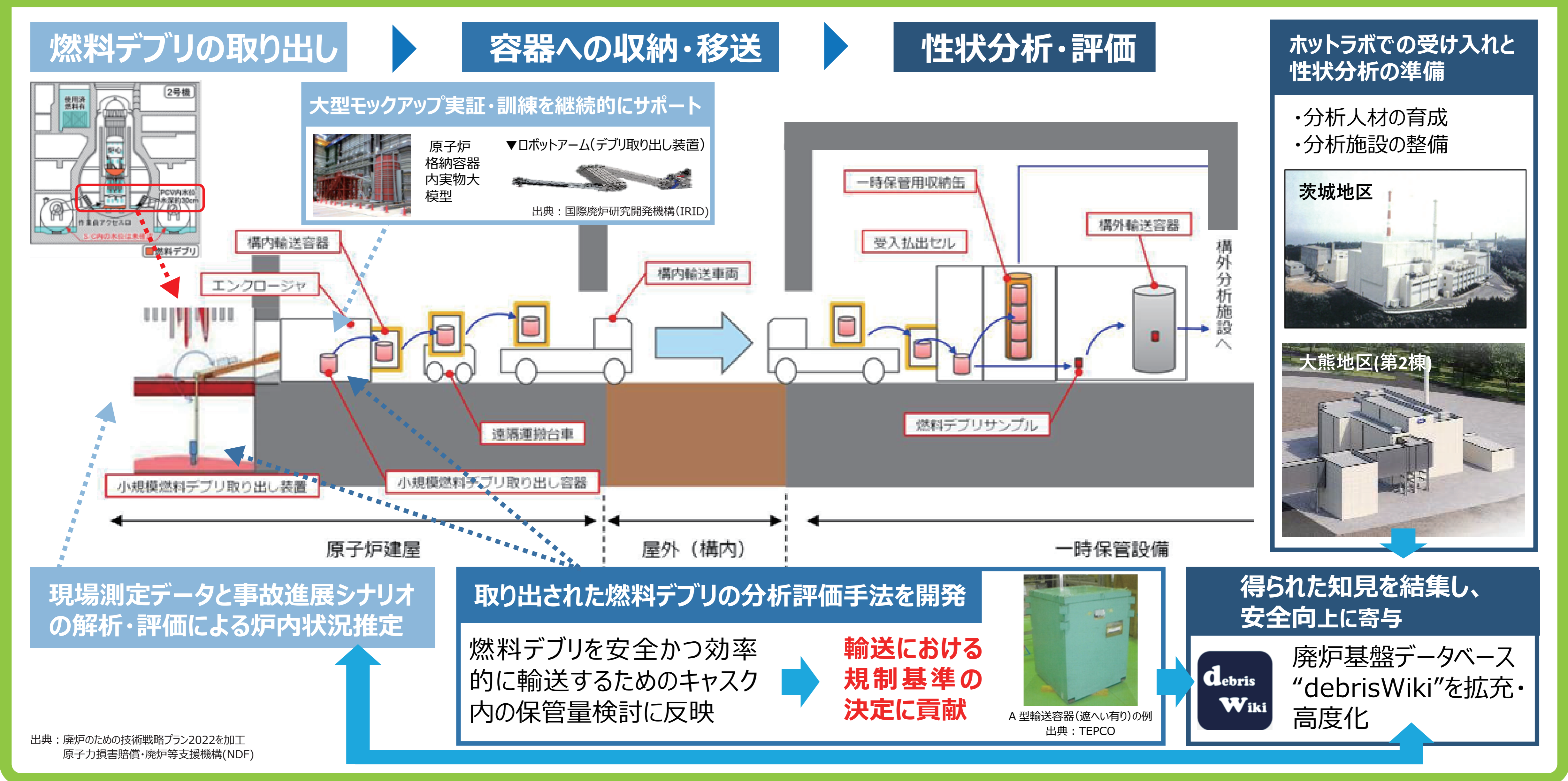


廃炉現場・社会への実装

福島復興に向けて **1F 廃炉を安全かつ確実に実現**するため、現場ニーズを踏まえつつ、燃料デブリの取り出し、放射性廃棄物の取り扱いに関する様々な研究開発を実施しています。研究開発で得られた**成果は廃炉現場に実装**されるほか、環境回復への取組みの中でも様々な場面で活用されています。

燃料デブリの取り出しに向けた取組

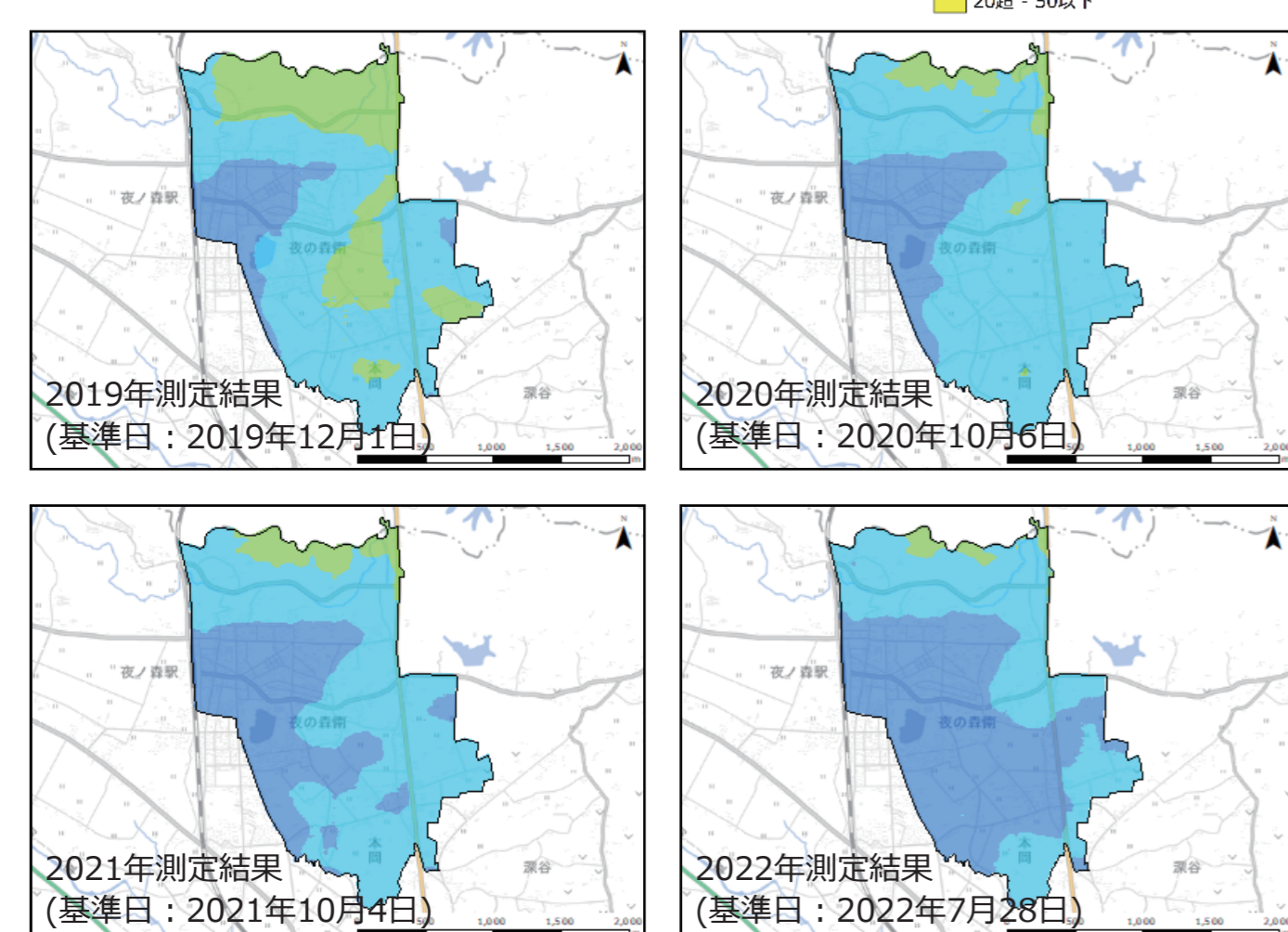


避難指示区域解除・環境回復に向けた取組

避難指示区域解除に貢献する線量率分布解析

避難指示区域の解除にあたっては、詳細な線量率分布の評価が必要です。

無人ヘリや機械学習などを活用し、迅速かつ正確なデータの解析手法を開発しました。



無人ヘリを用いた線量率分布データは、各自治体の避難指示解除に活用されています。

SEED

-被ばく線量シミュレーションシステム-

行動パターンでの外部被ばく線量を簡単に予測可能なシステムを構築、地域の皆さまの安心に貢献しています。



【活用例】
大熊町役場HPの環境情報サイネージに採用されています。
(<https://simulation.oku-ma-town.jp/sess/makePattern/>)

FaCE!S -福島総合環境情報サイト-

皆さまの疑問に総合的にお答えする情報サイトを公開、6つの地元自治体Webサイトで活用されています。

FaCE!S
福島総合環境情報サイト【フェイス】

FaCEIS Webページはこちら
<https://fukushima.jaea.go.jp/ceis/>